

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 702000000	所属課名 男女共同参画推進課	内線番号											
					うち復活額	一般財源															
大 中 小 細 事業	109 00 00 0	0	0	917	500	0	0														
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源														
		財源内訳	0	0	0	0	500														
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳													
<p>事業概要 市内在住満20歳以上を対象に、男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、男女共同参画施策の参考にする。また、米子市男女共同参画推進計画の全面改訂に向けて、施策の効果の指標とし、新計画の参考資料とする。</p> <p>必要性 男女共同参画社会の形成の促進のためには、様々な面から調査したデータが必要であり更にそのデータを基に施策の指標等参考にすることができる。更に、急速な社会情勢に対応するため、今後5年に1度の調査を実施していく。</p>								節		財源		款		項		目		節		金額	
								区分		金額											
								1	報酬												
								11	需用費	89											
								12	役務費	411											
								13	委託料	0											
2. 根拠法令																					
米子市男女共同参画社会基本法、米子市男女共同参画推進計画																					
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
<p>事業計画 男女共同参画市民意識調査の実施 審議会部会開催、意識調査対象者抽出、意識調査票作成、調査票郵送、内容分析 集計公表 調査対象者・・・市内に居住する20歳以上の市民から2,700人を抽出</p> <p>事業効果 意識調査結果を基に本市の実情に基づいた男女共同参画施策を実施することができる</p>																					
6. 財源の説明																					
ア 財源内容																					
一般財源																					
イ 事務事業評価の反映状況																					
効率的かつ正確なデータが得られるよう実施していく。																					
目的別 性質別																					

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2506000000	所属課名 崎津・流通団地営業課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	027 崎津工業団地関係経費	188	188	25,116	6,421	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子 『産業』がいきいき 地域の活力を生み出す産業のまちづ 観光地としての魅力づくり	実施計画計上額 0			
小 事 業	00										0	0	6,421
細 事 業	0										0	0	6,421
1. 事業の概要と必要性 崎津団地アミューズメント施設用地は、18.6haがウインズ米子用地として活用が図られたが、残る21.1haについては具体的な土地利用計画が定まっていない状況である。 この用地の早期売却のために、必要な土地データを収集し、開発の意向がある事業者に対し積極的に販売促進活動を行う。					節		本年度の財源内訳						
					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額	
					9 旅費	174							
					11 需用費	161							
					12 役務費	1,144							
					13 委託料	4,942							
					28 繰出金	0							
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 崎津団地開発促進事業特別会計繰出金(25,116千円)として予算要求を行ったが、特別会計廃止の方針が示されたことから、特別会計で要求した開発促進事業事務費について、一般会計に振り替えたもの。 (1) 事業計画 販売促進活動(東京都、大阪市、広島市、鳥取市) パンフレット、分譲要領の製作及び配布 松くい虫被害木の除去による土地の整備 ボーリング調査による土地の状況確認 (2) 事業効果 土地の状況確認及び整備を早急に進め、積極的な宣伝活動を行うことにより、崎津アミューズメント施設用地の認知度が向上し、団地の早期売却が可能になる。					6. 財源の説明 【事務事業評価】 効率化・改善 「当面は借地制度を活用しながら早期の土地活用を図っていくが、事業化についての進展がないようであれば、土地活用の基本方針の見直しとそれに伴う新たな利用促進策について隣接地を保有する鳥取県と連携を取りながら検討を行う必要がある。」								
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	034 環日本海拠点都市会議	645	645	8,088	7,342	0	0						
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子 『よなご』がいいき 交流と連携を育むまちづくり 国際交流の推進	実施計画計上額 0			
小 事 業	00										0	1,614	2,864
細 事 業	0												
1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳						
(1) 事業の概要 日本、中国、韓国、ロシアから環日本海圏域の都市の首長が一堂に会して参加し、環日本海 の拠点都市間の交流及び発展方策について協議を行う。					区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額		
(2) 事業効果 環日本海沿岸都市が国家間のイデオロギーを超えて相互に協力し合うことにより、環日 本海圏域の共同発展を目指すとともに、北東アジア地域の平和維持の一助に資する。					8 報償費	30	都道	16 02 01 01 036		2,864			
					9 旅費	13		環日本海拠点都市会議開催補助金					
					11 需用費	2,229	諸収	21 03 03 03 205		394			
					12 役務費	620		環日本海拠点都市会議参加者負担金					
					13 委託料	2,792	諸収	21 03 03 03 206		1,220			
					14 使用料及び賃借料	1,643		環日本海拠点都市会議同時通訳費用					
					19 負担金補助及び交付	15							
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
(1) 事業計画 当時の片山鳥取県総務部長（前鳥取県知事）の提唱により平成6年から日本、中国、韓国 ロシアの参加都市が持ち回りで実施し、14回目となる平成20年度は、本市で「経済」「観光」 「環境」を主要テーマとして会議を開催する。 ・参加予定都市 中国：琿春市、延吉市、図們市 韓国：東草市、東海市、浦項市 ロシア：ウラジオストク市、ナホトカ市、ハサン区 日本：これまで会議に参加した都市（7都市） ・期間 平成20年8月 ・会場 米子コンベンションセンター					6. 財源の説明 1 財源内訳 (1) 県補助金 補助金の名称：環日本海拠点都市会議開催補助金（仮称） 補助率：総事業費から収入を引いた額の2分の1の額 (2) その他 環日本海拠点都市会議同時通訳費用負担金（仮称） 会議の同時通訳に係る費用の2分の1の額を共催する境港市が負担する。 環日本海拠点都市会議参加者負担金 レセプション等への参加者負担金								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号		
					うち復活額	一般財源						
大 事 業	059 中海市長会	100	100	3,200	3,042	0	0					
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額	
小 事 業	00		0	0	0	0	3,042		章	『よなご』がいいき		
細 事 業	0		0	0	0	0	3,042		節	交流と連携を育むまちづくり		
							細節		地域間交流の推進			
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業の概要 中海圏域の一体的な発展に向けた事業の推進や、行政上の共通課題について連絡調整を行うために中海市長会を組織し、共同事業を実施する。 (2) 事業効果 4市の祭りの日程調整、圏域観光パンフレットの作成、防災協定、中海沿岸クリーンアップ作戦及び中学生の国際交流事業等。					節		本年度の財源内訳					
					区分		金額		財源 款 項 目 節 細節			金額
					19 負担金補助及び交付		3,042					
2. 根拠法令												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果 総会の開催：3回 幹事会の開催：5回 20年度から専任の事務局職員を配置し、圏域内の情報収集、市長会共同事業（中海圏域シンポジウムの開催、観光施設等の共通入場券の作成、大都市圏における情報収集・発信体制の構築、中学生の国際交流事業等）の計画・実施に取り組むと共に、民間団体への情報提供、連携を促進する。					6. 財源の説明 一般財源 事務事業評価・・・現状維持 構成市：境港市、松江市、安来市、米子市							
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
0	0	0	0	2,066	1,202	0	0								
大 中 小 細	121 情報収集事業 00 00 0	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部 章 節 細 節	みんなのための市役所 『市役所』がいきいき 市民に信頼される市役所づくり 効率的な行政運営の推進	実施計画計上額 0				
			0	0	0	0	1,202								
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
(1) 事業の概要 地方分権の進展により、各地方公共団体は地域の実情に合った施策の展開を求められており、政策形成及び判断材料となる国内外の情勢を常に把握しておく必要があることから、インターネットを利用した行財政情報サービス「iJAMP」の配信、講演会への参加を行う。 (2) 事業効果 政策形成及び判断に必要な最新の情報を収集、確保できている。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
					12	19	900	302							
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
「iJAMP」の契約 幹部職員等にライセンスを配布。 講演会等への参加 市長が会員となって、「米子境港政経クラブ」、「日本海政経懇話会」 「内外情勢調査会」が開催する講演会等へ参加。					6. 財源の説明										
					一般財源 事務事業評価・・・現状維持 【他市の状況】 鳥取市及び松江市においても同様に、「iJAMP」の契約及び各種講演会等への参加を行っている。										
目的別 性質別															

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号		
					うち復活額	一般財源						
大 中 小 細 事業	130 00 00 0	1,331	1,221	8,307	7,528	0	0					
	中心市街地活性化推進事業											
	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
			0	0	0	0	7,528					
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
事業の必要性 米子市中心市街地活性化計画は、国のまちづくり三法の見直しを受けて平成19年度に計画(案)を策定し、平成20年度には国の認定に向けて策定作業を進める必要がある。					区分			金額		財源 款 項 目 節 細 節		金額
事業の概要 ・新基本計画の策定及び冊子の作成 ・シンポジウムの開催 ・中心市街地活性化協議会の活動支援 ・空き店舗情報発信事業の実施					1	報酬	140					
					9	旅費	224					
					11	需用費	685					
					12	役務費	312					
					13	委託料	1,167					
					14	使用料及び賃借料	0					
					19	負担金補助及び交付	5,000					
2. 根拠法令 中心市街地の活性化に関する法律												
3. 用地の状況												
4. 基本計画との関連												
5. 本年度の計画効果 地域の実情を反映させ実効性が高まるよう、また、国の認定に沿った形での基本計画を見直し、策定することによって、国の有利な財政支援を受けられ、効果的に中心市街地の活性化を図ることができる。 ・基本計画策定とシンポジウムの開催 ・中心市街地活性化協議会の活動を支援するため、事務局経費(人件費2人分及び事務費)の1/3を負担。 ・空き店舗情報発信事業を委託実施												
6. 財源の説明 一般財源 事務事業評価・・・現状維持												
目的別 性質別												

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	503000000			
項	01 総務管理費							所属課名	協働推進課			
目	09 企画費	0	0	7,094	5,222	0	0	内線番号				
大	132 自治基本条例策定事業							実 施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額	
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいきいき		
小	00								節	市民に信頼される市役所づくり		
細	0		0	0	0	0	5,222		細節	市民との協働		0
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳				
(1) 事業の目的と必要性					区分		金額		財源		款 項 目 節 細節	
少子高齢化、人口減少、地方分権の進展など激減する社会環境の中、米子の市民（個人、ボランティア団体、NPO、企業など）と、行政や議会が一体となって「共に支え合う社会システム」を創り上げる必要がある。そのために、「自治の基本理念」、「自治の実現にとって重要な市民の権利・責務」、「自治をつくるための制度や仕組み」、「行政・議会の運営原則・責務」を定めた自治基本条例を制定し、これを自治体（米子市）の憲法と位置付けることで、「共に支え合う社会システム」づくりの推進を図る。					1	報酬	77					
(2) 事業の概要					8	報償費	2,150					
条例制定に向けた気運を高めるためのシンポジウムや出前説明会による広報啓発活動の実施と市民からの公募による自治基本条例策定委員会の設置とその運用など。					9	旅費	486					
2. 根拠法令					11	需用費	1,458					
3. 用地の状況					12	役務費	777					
4. 基本計画との関連					14	使用料及び賃借料	74					
新米子市総合計画の基本理念である「市民との協働のまちづくり」を実現するための条例					18	備品購入費	200					
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明							
(1) 事業計画												
広報啓発活動												
協働のまちづくりと自治基本条例の必要性及び内容などを周知するための広報啓発活動を実施する。												
シンポジウム 1回、出前説明会 60回程度、市民向けの広報用パンフレットの作成など												
自治基本条例策定委員会の設置と運営												
市民自身で創り上げる条例とするため、策定委員会を設置し、その運営を補佐する。												
全体会 10回、条例素案ワーキング部会 15回、市民広報部会・基本理念部会 15回												
自治基本条例の策定状況の周知												
策定期間の半ば（10月頃を目途）に、条例策定の状況などをまとめ、また、広く市民の意見を取り入れるため中間報告書を作成する。												
市民アンケートの実施												
中間報告書をまとめるにあたり、市民アンケートを実施する。												
対象：無作為抽出で3,000人程度												
目的別												
性質別												

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	503000000				
項	01 総務管理費							所属課名	協働推進課				
目	09 企画費	0	0	569	309	0	0	内線番号					
大	133 市民参画・協働推進事業							実 施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいいき			
小	00			0	0	0	309		節	市民に信頼される市役所づくり	0		
細	0		0	0	0	0			細節	市民との協働			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
<p>(1) 事業の目的と方針 まちの憲法である自治基本条例の制定に先立ち、「市民と行政」に視点を置いた「協働のまちづくり」の具体的な取組みを進めていくために、平成19年7月に「米子市市民参画・協働推進計画」を策定した。本事業は、この計画に示されている12項目の具体的な取組みを実現していくために行うもので、平成20年度には、そのうちの「外部委員会の設置」と「市民参画・協働の意識を高める」の2項目を中心に事業を展開する。</p> <p>(2) 事業の概要と効果 協働事業の推進と評価などを具体的に検討・評価する外部委員会の設置、市職員の啓発を目的とした研修会の開催、市民・市職員向けのガイドブックの作成など、市民参画・協働の知識を周知・共有化することで、協働のまちづくりの基礎を創り上げることができる。</p>					区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額
					1 報酬	8 報償費	9 旅費	11 需用費	14 使用料及び賃借料	140	50	68	30
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連					新米子市総合計画の基本理念である「市民との協働のまちづくり」を推進するための事業								
5. 本年度の計画効果					<p>(1) 事業計画 外部委員会の設置・開催・・・2回 市民からの公募委員と市職員とで構成される「外部委員会」を設置し、市民と行政との協働事業の推進と評価などを具体的に検討・評価する。 市職員研修・・・1回 市民参画・協働に関する市職員の意識を高めるため、研修会を行う。 市民参画・協働推進ガイドブックの作成 市民・市職員用のガイドブックを作成し、市民参画・協働に対する意識を高める。</p>								
6. 財源の説明													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	501000000															
項	01 総務管理費							所属課名	総合政策課															
目	09 企画費	0	0	720	612	0	0	内線番号																
大	136 総合計画市民意識調査事業							実施 計 画	部	みんなのための市役所	実施計画計上額													
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいきいき														
小	00			0	0	0	612		節	市民に信頼される市役所づくり														
細	0			0					節	市民との協働		0												
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳																
<p>新米子市総合計画(米子いきいきプラン)では、市民満足度を含めた数値目標を設定し、毎年、数値目標の進捗状況を公表することとしている。 当該事業は、平成17年度に実施したまちづくりアンケートに基づき、市民意識調査を実施して、総合計画基本計画の中間年である平成20年度における市民ニーズ・市民満足度を調査することで、総合計画の進行管理と今後の市政運営の指針とする。</p>					区分		金額		財源	款	項	目	節	金額										
					11	需用費		150																
					12	役務費		462																
2. 根拠法令																								
3. 用地の状況																								
4. 基本計画との関連																								
5. 本年度の計画効果																								
<p>市民アンケート調査の実施 対象者3000人 (統計上一定の精度を確保するため、回収数を1,300件、回収率を43%として算出) また、アンケートの設問、アンケート用紙の印刷、集計及び分析を直営で行うこととしており、外注する場合に比べ効率的である。</p> <p>(事業費の内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50千円</td> <td>アンケート票用紙・コピー代等</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>100千円</td> <td>アンケート用受取人払封筒(返信用)印刷等</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>462千円</td> <td>送付 @3,000通×115円=345,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>返信 @1,300通×90円=117,000円</td> </tr> </table>					消耗品費	50千円	アンケート票用紙・コピー代等	印刷製本費	100千円	アンケート用受取人払封筒(返信用)印刷等	通信運搬費	462千円	送付 @3,000通×115円=345,000円			返信 @1,300通×90円=117,000円	6. 財源の説明							
消耗品費	50千円	アンケート票用紙・コピー代等																						
印刷製本費	100千円	アンケート用受取人払封筒(返信用)印刷等																						
通信運搬費	462千円	送付 @3,000通×115円=345,000円																						
		返信 @1,300通×90円=117,000円																						
					一般財源																			
					事務事業評価・・・																			
目的別																								
性質別																								

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課				
					うち復活額	一般財源	内線番号						
大 事 業	138	J R 境線支障移転費負担金	0	0	32,122	32,122	0	0	実 施 計 画	部 活 力 み な ぎ る 米 子	実施計画計上額		
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	章 『よなご』がいきいき	0			
小 事 業	00			0	0	0	0	32,122	節 交流と連携を育むまちづくり				
細 事 業	0								細 節 総合的な交通体系の整備				
1. 事業の概要と必要性 米子空港滑走路延長事業に伴い支障する J R 境線が平面迂回方式で移転することによる線路の延長に伴う費用の相当額について、線路の延長に起因する運賃の値上げを行わないことを条件に、県、境港市及び本市で措置するもの。					節 本年度の財源内訳								
					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					19 負担金補助及び交付		32,122						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 米子空港滑走路2,500m化事業により、J R 境線が迂回する区間の営業開始の日の属する年度を期間に定め、平成18年度6月補正予算で限度額32,122千円の債務負担行為の議決を得ているもの。平成20年秋に暫定営業開始予定。													
6. 財源の説明 一般財源													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	501000000				
項	01 総務管理費							所属課名	総合政策課				
目	09 企画費	0	0	310	251	0	0	内線番号					
大	139 公共事業評価							実施 計画 細 節	部	みんなのための市役所	実施計画計上額		
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『市役所』がいいきいき			
小	00		0	0	0	0	251		節	市民に信頼される市役所づくり	0		
細	0		0	0	0	0			節	効率的な行政運営の推進			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
事業の概要 厳しい財政事情の中で、真に必要とされる公共事業を効果的かつ効率的に実施していくことが求められており、計画策定段階の大規模公共事業の事前評価及び長期継続中の国庫補助事業の再評価を行う。評価の実施にあたり、第三者からの意見を求める機関として、学識経験者で構成する米子市公共事業評価委員会を設置する。 事業効果 公共事業の妥当性を検証し、情報公開をすることによって、公共事業の効率性、客観性、透明性を確保する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
					1	報酬	140						
					8	報償費	14						
					9	旅費	46						
					11	需用費	51						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 米子市公共事業評価委員会の開催 年4回を予定 評価予定事業 事前評価対象事業 1事業 事後評価対象事業 1事業 評価結果の公表 市HP等で公開する。													
6. 財源の説明 一般財源													
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 事 業	142 韓国行政研修事業	0	0	495	483	0	0								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			実施計画計上額					
小 事 業	00		0	362	0	0	121			0					
細 事 業	0														
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
(1) 事業の概要 職員が、主体的に研修の企画を行い韓国の自治体に赴き、韓国の行政事情を学ぶ。 (2) 事業効果 職員自らが企画した韓国の行政事情を学ぶための研修を行うことで、国際交流の一層の推進と国際的視野を有する人材の育成に資する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額		
					9	旅費	375	都道	16	02	01	01	037		362
					12	役務費	108								海外研修事業等補助金
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画 韓国姉妹都市への職員自主企画による行政研修 期間：6日間 人員：2名程度					6. 財源の説明										
					1 財源内訳 (1) 県補助事業によるもの 補助事業名：海外研修事業等補助金 補助対象事業：韓国行政研修事業 補助率：4分の3(限度額：1名あたり30万円)										
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	501000000				
項	01 総務管理費							所属課名	総合政策課				
目	09 企画費	0	0	1,985	1,800	0	0	内線番号					
大事業	144 地上デジタル放送受信障害調査事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額		
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき			
小事業	00			0	0	0	1,800		節	交流と連携を育むまちづくり			
細事業	0		0	0	0	0	0		0	細節		高度情報化の推進	
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳					
<p>市有建物が原因で、テレビの受信障害が発生している世帯に対して市が設置している共聴設備は、アナログ放送にしか対応していない。デジタル放送に完全移行する2007年7月までに、デジタル放送において受信障害が解消される範囲を調査し、引き続き受信障害が解消しない場合、共聴設備の計画的な改修等に取り組む必要があるため。</p>					区分		金額	財源	款	項目	節	細節	金額
					13	委託料	1,800						
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果													
<p>共聴設備を設置している市有施設・・・米子市役所本庁舎、市営青木住宅、明道小学校 他10施設</p> <p>対象世帯・・・約850世帯</p> <p>机上調査（コンピュータによるシミュレーション）及び現地受信調査（測定地点59箇所を予定）をおこなう。</p>													
6. 財源の説明													
一般財源													
事務事業評価・・・													
目的別													
性質別													

歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 09 企画費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 501000000	所属課名 総合政策課	内線番号			
					うち復活額	一般財源							
大 事 業	145	0	0	2,170	2,170	0	0	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額 0		
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『よなご』がいきいき			
小 事 業	00		0	0	0	0	2,170		節	交流と連携を育むまちづくり			
細 事 業	0		0	0	0	0	2,170		細節	総合的な交通体系の整備			
1. 事業の概要と必要性 米子空港滑走路2,500メートル化に伴い新たに設置される、米子空港新駅（仮称）と空港ビルまでのアクセス通路整備事業費の一部を負担するもの。 利用者の利便性、県道横断時の安全性、費用便益等を総合的に考慮し、空港敷地内は屋根付歩道、県道横断部は歩道橋（エレベーター設置）とし、JR新駅構内には待合施設及びトイレを設置する。					節		本年度の財源内訳						
2. 根拠法令					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額
3. 用地の状況					19 負担金補助及び交付		2,170						
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 空港敷地内の屋根付歩道（空港敷地内）・・・国が事業主体（地元負担なし） 県道横断部からJR新駅構内・・・県が事業主体 うち、県道横断部（歩道橋、エレベーター、屋根付歩道）は、県の負担 JR新駅の待合施設、トイレ・・・県、境港市、米子市が負担 歩道橋他建設費 県111,000千円 境港市 0千円 米子市 0千円 維持管理費 県 1,700千円 境港市 0千円 米子市 0千円 待合施設等建設費 県 20,500千円 境港市1,025千円 米子市2,050千円 維持管理費 県 1,020千円 境港市 60千円 米子市 120千円					6. 財源の説明 一般財源								
目的別 性質別													

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	1002000000														
項	01 総務管理費							所属課名	環境政策課														
目	13 公害対策費	0	0	593	422	0	0	内線番号															
大	058 ばい捨て禁止等対策事業							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額												
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『暮らし』がいきいき													
小	00			0	0	0	422		節	魅力あふれる定住のまちづくり													
細	0		0	0	0	0			細節	快適な住環境の整備													
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳															
1) 事業の概要 本市、市民、事業者等がごみの投棄、飼い犬等のふんの放置を協働して防止し、まちの美観を損ねることのない「きれいな住みよいまちづくり」を推進することを目的とする条例を制定し、平成19年7月1日から施行した。 「ごみのばい捨て」や「飼い犬等のふんの放置」の防止の施策、さらには、特に市民の模範となる「環境美化推進区域」の指定を行う。								区分		金額		財源		款		項目		節		金額			
2) 事業の必要性 ごみのばい捨て等の防止や、環境美化推進区域を指定することにより、きれいなまちづくりを促進するとともに、市民の環境美化意識の醸成が図られる。								11 需用費		50													
2. 根拠法令								13 委託料		372													
3. 用地の状況																							
4. 基本計画との関連																							
5. 本年度の計画効果																							
1) ばい捨て等の禁止小型看板設置 ・市内全域に設置し、ごみの投棄、飼い犬等のふんの放置禁止の周知・徹底																							
2) 公会堂敷地内三角塔掲示板により広く市民に啓発																							
3) 違反者に対する指導 ・巡回用腕章																							
4) 環境美化推進区域指定(市内2ヶ所予定) ・地元説明会資料 ・指定区域の表示用看板 ・指定区域内美化清掃																							
6. 財源の説明																							
ア. 財源内訳 一般財源																							
イ. 事務事業評価の反映状況 現状維持																							
目的別 性質別																							

歳出予算事業概要書

款	02 総務費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	701000000					
項	01 総務管理費							所属課名	人権政策課					
目	16 人権啓発費	33,347	33,347	26,350	26,102	0	0	内線番号						
大	005 人権教育推進員等設置事業							実施 計 画	部	ゆとりある心豊かな米子	実施計画計上額			
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『こころ』がいきいき				
小	00		0	0	0	0	26,102		節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・	0			
細	0		0	0	0	0			細節	人権尊重都市の実現				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
(1) 事業目的 同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する教育啓発活動の推進を図るため、人権教育推進員を配置するもの (2) 事業内容 人権教育推進員(非常勤職員)を8名配置 (3) 事業効果 人権教育の推進を図ることができる					区分		金額	財源	款	項	目	節	金額	
					1	報酬	19,617							
					4	共済費	2,950							
					8	報償費	3,435							
					9	旅費	44							
					11	需用費	0							
					13	委託料	56							
2. 根拠法令 米子市人権教育推進員の設置及び運営に関する規則														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
(1) 事業計画 人権問題に係る学習機会の拡充 人権問題に係る学習内容の充実 人権問題に係る学習の支援 人権問題に係る学習に関する調査及び研究 企業における同和問題をはじめあらゆる人権問題に係る啓発を推進 人権情報センターに関する事務					6. 財源の説明									
					(1) 財源の説明 一般財源									
目的別														
性質別														